

大会名 Competition	第42回全国高等学校バスケットボール 選抜優勝大会 秋田県予選会
NO. M-4	Year Month Day Time 2011 年 11 月 7 日 14 : 00
場 所 Place	横手市増田体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB															
能代工		秋田西															
114	<table border="1"> <tr><td>32</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>19</td><td>2nd</td><td>24</td></tr> <tr><td>38</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>25</td><td>4th</td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	32	1st	12	19	2nd	24	38	3rd	15	25	4th	6		OT		57
32	1st	12															
19	2nd	24															
38	3rd	15															
25	4th	6															
	OT																
○		●															

主審:Referee
佐藤 匠 (秋田)
副審:Umpire
疋田 晋 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
横手清陵高校男子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	
4	/	志水一希		8	0	4	0	-	4	x	寺田舜	CAP	5	0	1	3	5	
5	x	中村正也		31	0	13	5	-	5	x	鎌田朋大		8	0	4	0	2	
6		溝坂太成		-	-	-	-	-	6		三浦和延		-	-	-	-	-	
7	/	秋葉真司		10	0	4	2	2	7	x	柴田和延		9	3	0	0	2	
8	/	伊藤健太		2	0	1	0	-	8	x	真壁航太		2	0	1	0	-	
9		中山祐樹		-	-	-	-	-	9	x	畠山大輝		3	1	0	0	1	
10	/	熊谷慎也		6	0	3	0	1	10	/	高橋大志		3	1	0	0	1	
11	/	田中浩喜		2	0	1	0	-	11		嵯峨優翔		-	-	-	-	-	
12	x	野里惇貴		33	5	8	2	-	12		菅原隆輔		-	-	-	-	-	
13	x	土屋真人		5	1	0	2	1	13		平野利来		-	-	-	-	-	
14	x	松本大河		0	0	0	0	1	14	/	寺田将啓		3	0	1	1	1	
15		中島強太		-	-	-	-	-	15	/	河村祐亮		4	0	2	0	1	
16	x	佐々木健登		8	0	4	0	1	16	/	嘉藤晃平		7	1	2	0	-	
17	/	小田桐匡志		4	0	2	0	-	17	/	進藤大地		9	1	3	0	1	
18		砥綿啓伍		-	-	-	-	-	18	/	石澤雄太		4	0	2	0	2	
19		畠山凌		-	-	-	-	-	19	/	菅原周弥		0	0	0	0	1	
20	/	五十嵐 駆		2	0	0	2	1	20		鳥海祐太		-	-	-	-	-	
21	/	金田海郷		3	1	0	0	1	21		淡路健椰		-	-	-	-	-	
コーチ		佐藤信長							コーチ		小松和幸							
Aコーチ		平山智哉							Aコーチ		畠山卓真							
合計				114	7	40	13	8	合計				57	7	16	4	17	

※x:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントリット 2P:2P* イントリット FT:フリースロー F:ファウル

2011年ウインターカップ秋田県予選決勝は、ともに夏の北東北インターハイに出場した能代工と秋田西の対戦となった。

第1ピリオドは両チームともマンツーマンディフェンス。能代工はハーフライン付近で積極的にトラップを仕掛けて秋田西のミスを生かす。試合の主導権を握る。#12野里が高確率でアウトサイドシュートを沈めテンポよく得点を重ねる能代工に対し、秋田西はタフショットが多く得点が伸びない。能代工#5中村の力強いドライブを秋田西は止めることが出来ず、次々と得点を許す。#5中村が16得点、#12野里が14得点を挙げた能代工が32-12と大きくリードを奪う。

第2ピリオド、秋田西は#15河村、#16嘉藤、#17進藤、#18石澤、#19菅原と5人の3年生を投入する。#15河村がアシストやスティールでチームに勢いをもたらす、#18石澤のドライブなどで反撃、開始3分で能代工34-24秋田西と10点差まで詰め寄る。能代工も#7秋葉、#4志水らのジャンプシュートで再びリードを広げようとするが、秋田西は終盤に#16嘉藤、#17進藤の3Pが決まり能代工51-36秋田西で前半終了。

第3ピリオド、両チームともメンバーをスターターに戻す。序盤は一進一退の攻防が続くが、開始3分で秋田西#4寺田舜がファウルアウトすると試合の流れは一気に能代工に傾く。能代工#5中村がアーリーオフenseからのドライブで次々とシュートをねじ込みリードを広げ、得意の速い展開から外角シュートも立て続けに決まり、試合は一方向的な展開となる。89-51と能代工がリードを広げて終了。

第4ピリオド、秋田西は再び5人の3年生を投入するが、勢いづいた能代工の攻撃を止めることができない。運動量とスピードで優位に立った能代工は前線から激しくプレスをかけ、インサイドでは#10熊谷がリバウンドを支配、秋田西に反撃のチャンスを与えない。第4ピリオドを僅か6失点で守りきった能代工が114-57で圧勝、42連覇を飾った。